

平成30年度 大阪府流域下水道事業会計 決算の概要

事業概要

- ・平成30年度より地方公営企業法を適用。
- ・業務量・・・総流入水量689,868千m³、日平均流入水量1,890千m³
7流域12処理区（処理場14箇所、ポンプ場32箇所、管渠延長約568km）

損益の状況 ※消費税及び地方消費税を除く

	金額	内容	特記事項
収益	609億7,933万円	維持管理負担金、一般会計繰入金、長期前受金戻入等	減価償却費に対する営業収益の不足（資本費＋利息等）により、経常損失が発生
費用	638億4,391万円	管渠・ポンプ場・処理場費、減価償却費等	
経常損失	28億6,457万円		

※その他、地方公営企業法の適用に伴い、各種引当金計上したことで特別損失32億3,036万円を計上。

財務諸表

I. 損益計算書

営業費用 616億6,800万円	管渠・ポンプ場・処理場費 228億3,319万円	負担金及び受託金 204億3,512万円	営業収益 204億3,512万円
	減価償却費 376億8,335万円	他会計補助金 93億5,263万円	
営業外費用 21億7,590万円	その他 11億5,146万円	長期前受金戻入 304億8,783万円	営業外収益 405億4,422万円
	支払利息及び企業債取扱諸費 19億3,330万円	その他 7億375万円	
	その他 2億4,260万円		

II. 貸借対照表

固定資産 1兆815億1,710万円	固定負債 1,686億1,900万円 (うち企業債 1,614億5,670万円)
	流動負債 287億5,965万円
	繰延収益 6,432億4,686万円
	資本金等 2,561億6,879万円
流動資産 152億7,720万円	

III. キャッシュフロー計算書

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純損失	▲60億9,493万円
減価償却費	376億8,335万円
長期前受金戻入	▲304億8,783万円
各種引当金の増減額	27億2,042万円
未収金の増減額	6億6,764万円
未払金の増減額	▲28億398万円
その他	27億267万円
小計	43億8,734万円
利息等の支払額	▲24億9,961万円
業務活動によるキャッシュ・フロー	18億8,773万円

2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	▲133億6,880万円
国庫補助金等による収入	110億1,342万円
流域下水道事業減価基金組入による支出	▲60億8,863万円
流域下水道事業減価基金繰入による収入	52億2,292万円
その他	5億5,616万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲26億6,492万円

3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	140億900万円
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	▲207億2,310万円
一般会計からの出資による収入	56億4,462万円
リース債務の返済による支出	▲3億1,376万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲13億8,324万円

資金増減額	▲21億6,043万円
-------	-------------

資本的収支の状況

※消費税及び地方消費税を含む

	金額	内容
収入	355億 414万円	国庫補助金、建設負担金、企業債等
支出	416億1,775万円	流域下水道建設事業費、企業債償還金等
収支差	61億1,360万円	(不足額は、損益勘定留保資金等で補てん)

建設改良費 146億3,123万円	企業債 140億500万円	うち翌年度繰越額 3億6,300万円
企業債償還金 207億2,310万円	出資金 56億4,462万円	うち翌年度繰越額 243万円
	国庫補助金 75億1,119万円	
	負担金 31億9,544万円	うち翌年度繰越額 10億2,949万円
	受託金 5億8,697万円	
	固定資産売却代金 7億3,292万円	
	基金繰入金 52億2,292万円	
基金組入金 60億8,863万円		
国庫返納金 8,680万円		
建設負担金返還金 8,799万円		
		→資本的収支 不足額 61億1,360万円 (翌年度繰越額を除く)

企業債残高

	H30	R1	備考
企業債残高	1,769億836万円		

前年度決算との比較（主なもの）

項目	H30	前年度比	要因
管渠・ポンプ場・処理場費	228.3億		
維持管理負担金	204.3億		
企業債利息	18.9億		
自主財源事業収益	6.6億		
建設改良費	146.3億		
企業債償還金	207.2億		
経常損失	28.6億		
累積欠損金	60.9億		